

妖僧（1963）

メディア 映画
ジャンル 時代劇
製作国 日本
色彩 B&W
時間 98分
初公開日 1963/10/05

【解説】

弓削の道鏡に材を採った歴史ロマン。激しい修行の末、法力を体得した行道は、己の能力をもって衆生の救済を行っていた。その噂を耳にした女帝・孝謙は、彼を呼んで足の治療を依頼する。行道は女帝の深い信頼を得るが、側近らの反発を買ってしまう。一度は法力で撃退したものの、女帝との男女の関係によって、彼の力は著しく衰えていく……。

【クレジット】

監督	衣笠貞之助	
製作	永田雅一	
企画	原田光夫	
原案	八尋不二	
脚本	衣笠貞之助	
	相良準	
撮影	今井ひろし	
音楽	伊福部昭	
特殊技術	黒田義之	
	森田富士郎	
	美間博	
出演	市川雷蔵	道鏡
	藤由紀子	
	万里昌代	
	片岡彦三郎	
	小沢栄太郎	
	城健三郎	
	小林勝彦	
	近藤美恵子	
	中条静夫	
	成田純一郎	